

沼津の時間 by tanpopo

<編集室より>静岡県沼津市の tanpopo さんからの便りをご紹介します。7月の瞑想合宿の会場となったヒネモスカフェは、tanpopo さんのお店です。

思えば東京から沼津に移ってきた10年近く前、町を歩く人々の速度の遅さにおどろき、夜が早い商店街におどろき、かわいい女子高生がしゃべる方言におどろき、欲しいモノが店にないことにおどろきました。

北を望むと富士があり、南と西は駿河湾、東には箱根の山々、町の真ん中には緩やかに流れる河。急がなくても店にモノがなくても、沼津のひとは沼津の時間で生きてきたようでした。

あちこちにある小さな魚屋、ひがな居眠りするおばあちゃん、河でゆったりと糸をたれる釣り人。

そして穏やかな駿河湾を眺めながら、蕪村の「春の海 終日（ひねもす）のたりのたりかな」、そこからいただいた「ヒネモスカフェ」の名前。わたしの歩く速度もだいぶ遅くなったようです。

